

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	青森県	代表者名	宮下 宗一郎		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	017-734-9071		
担当者役職	主事	担当者氏名	太田 拓志	連絡先E-mail	
住所	030-8570 青森県青森市長島1丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	事業後のイメージとして、どのようにICTを活用して窓口業務改革を実施すべきか、実際の稼働状況を見せていただきながら説明を受けられたため、窓口業務改革の意向がある市町村へICTの活用方法等の説明がしやすくなった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月19日	事前打合せ(オンライン)	有	令和6年1月30日	1192
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月19日	事前打合せ（実地）	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	浜松市役所	最寄駅	浜松駅	
	所在地	静岡県浜松市中区元城町103-2	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	青森県庁	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	各市町村においては、窓口業務改革の必要性は認識しているものの、具体的に取り組みを推進できている市町村は限定的であることから、取り組みの契機となるような機会創出が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	窓口業務改革の実施意向がある市町村の職員向けに、実際に市民になりきってもらい、ICTを活用した窓口業務体験を実施したうえで、その後のワークショップを通して「気づき」を得てもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	窓口業務改革ワークショップの実施にあたり、シナリオ等の内容確認や導線、タイムスケジュールの管理について他の自治体の例をもとに助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	シナリオや班構成、参加者の役割を確定させることができました。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事前打ち合わせのため、ワークショップ後に改善内容を報告いたします。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため、ワークショップ後にアンケート調査を行います。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

